

短期習得実践道場 ぶどうコース

1 ぶどう台木の生育について

・台木を使用する目的

- ①ブドウネアブラムシ（別名：フィロキセラ）による加害で、根に「コブ」の形成 ⇒ 樹勢衰弱 ⇒ 枯死 を回避するために、フィロキセラ抵抗性のある「台木」を使用。
- ②同一品種の苗木を大量に育成するときに、台木(テレキ 5 B B・5 C など)＋穂品種(ナガノパープル、シャインマスカット等)による接木増殖が効果的。



写真 1 「テレキ 5 B B」の伸長
(サツマイモ畝の隅に挿木)

(1) 台木品種

フィロキセラ抵抗性「テレキ 5 B B」

(2) 「テレキ 5 B B」の特徴

- ・耐乾性がある
- ・耐湿性はやや弱い
- ・耐寒性は強い

(3) 挿木の月日等

- ・挿木日：平成 29 年 5 月 7 日
- ・挿し穂：3 月中旬に台木母樹から採取。ビニール袋に入れて冷暗所に貯蔵。
- ・挿し穂の調整：写真 1 は、2 芽に調整した挿し穂を使用。

(4) 生育状況等

- ・新梢の伸長を確認したら、新梢を 1 本に整理。主枝は約 2 m 伸長。副梢を整理していない状態。
- 枝の充実を図るためには、副梢の摘心を行う。

(5) 次年の作業

- ・4 月頃に穂品種の接木を実施など。

2 ぶどう べと病の症状について

重要病害 葉や果実に発生



写真 2 べと病の病徴(葉表) 退色を確認
品種：醸造用「メルロー」 撮影 9 月 2 日



写真 3 べと病の病徴(葉裏)
白色の「かび」が発生

防除対策：発病してからの防除では手遅れである。展葉 6～8 枚期頃から定期的に薬剤散布・新梢管理を行い、『予防』を徹底する。